

I 令和3年度事業報告書

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月 31日

1. 会員数

| | | |
|------------|------------|------|
| 令和3年度期首会員数 | 令和4年度期首会員数 | 期中異動 |
| 382名 | 365名 | 17名 |

2. 実施事業

(1) 行事

1) 会員例会

委員長 葛西 信三
副委員長 市原 好二

| 開催日等 | テーマ | 講師 |
|--------------------------|---|---|
| 4月例会 <R3.4.27> | 「ポストコロナ禍の中国経済の行方」—米中対立とグローバルサプライチェーンのあり方— | (公財) 東京財団政策研究所主席 研究員 柯 隆 氏 |
| 岐阜県 サミット <R3.5.24> | —サミット記念講演会— 「コロナを超えた地方の再生を考える」 | 早稲田大学公共経営大学院教授 片山 善博 氏 |
| | —岐阜県サミット— | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| 6月例会 <R3.6.15> | 「波乱の世界経済の行方：未曾有の危機と史上最高値の株式市場のその後を考える」 | マネックス証券(株)専門役員チーフ・アナリスト/名古屋商科大学大学院教授 大槻 奈那 氏 |
| 7月例会 <R3.7.26> | 「渋沢栄一の『論語と算盤』に学ぶ～繁栄し続ける社会と企業経営」 | シブサワ・アンド・カンパニー(株) 代表取締役 渋澤 健 氏 |
| 8月例会 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 | |
| 9月例会 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 | |
| 10月例会 <R3.10.21> | 「資本主義の新しい形—脱炭素化がもたらすもの—」 | 京都大学大学院経済学研究科/ 地球環境学堂教授 諸富 徹 氏 |

| | | |
|---------------------|------------------------------------|---|
| 11月例会 〈R3.11.26〉 | 「DXの思考法」 | 東京大学未来ビジョン研究センター客員教授/㈱経営共創基盤シニア・エグゼクティブ・フェロー 西山 圭太 氏 |
| 12月例会 〈R3.12.7〉 | 「出会いこそ、生きる力」 | 俳優 サヘル・ローズ 氏 |
| 1月例会 〈R4.1.24〉 | 「2022年日本経済の展望」 ～コロナをチャンスに変えるには～ | ㈱第一生命経済研究所経済調査部 首席エコノミスト 永濱 利廣 氏 |
| 2月例会 〈R4.2.22〉 | 「地域と共につくる未来」 | 慶應義塾大学医学部教授 宮田 裕章 氏 |
| 3月例会 〈R4.3.24〉 | 「岸田政権の経済政策と内外経済・金融情勢」 | ㈱野村総合研究所エグゼクティブ・エコノミスト 木内 登英 氏 |

2) 産学官懇談会

委員長 澤田 栄
副委員長 堀 富士夫
副委員長 佐藤 光政

| 開催日等 | テーマ | 講師等 |
|----------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 第1回講演会 〈R3.8.6〉 | 「地球温暖化のファクトフルネスー グリーン成長は可能か」 | キャノングローバル戦略研究所研究主幹 杉山 大志 氏 |
| 第2回講演会 〈R3.10.12〉 | 「ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた中部地域の産業の展望と課題」 | 経済産業省中部経済産業局局長 田中 耕太郎 氏 |
| 視察 〈R3.12.2〉 | 視察先：岐阜関ヶ原古戦場記念館 | 最新技術を結集した体験型施設を視察。 |
| 第4回講演会 〈R4.2.14〉 | 「信長・秀吉・家康～戦国三英傑に学ぶ経営戦略」 | 静岡大学名誉教授、岐阜関ヶ原古戦場記念館館長 小和田 哲男 氏 |

3) 幹事会

| 開催日 | 内 容 | ゲスト |
|-----------|-----------------------|-----------------|
| <R3.9.6> | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 | |
| <R4.3.22> | 古田知事との意見交換会 | 岐阜県知事 古田 肇 氏 |

4) 地域懇談会

① 中濃地域懇談会

| | |
|-----|----------------------|
| 開催日 | 令和3年6月21日 |
| テーマ | 『最近の経済情勢等について』 |
| 講 師 | 岐阜財務事務所長 南部 寿美雄 氏 |
| 参加者 | 17名 |

② 飛騨地域懇談会

| | |
|-----|----------------------|
| 開催日 | 令和3年6月24日 |
| テーマ | 『最近の経済情勢等について』 |
| 講 師 | 岐阜財務事務所長 南部 寿美雄 氏 |
| 参加者 | 10名 |

③ 東濃地域懇談会

| | |
|-----|-----------------------|
| 開催日 | 令和4年3月29日 |
| テーマ | 『健康寿命を延ばす食生活術』 |
| 講 師 | 食生活ジャーナリスト 佐藤 達夫 氏 |
| 参加者 | 52名 |

(2) フォーラム事業

1) 企業経営フォーラム

委員長 嶋崎 吉弘
副委員長 澤田 伸彦

| | |
|------|--|
| 目 的 | 変化の激しい時代のなかで、企業経営は柔軟かつスピーディな対応を余儀なくされているため、企業経営の最新トレンドや直面する様々な課題について理解を深めるとともに意見交換する。なお、必要に応じ、国内外の先進企業などを視察する。 |
| 活動経過 | <p>■第1回フォーラム 令和3年12月9日</p> <ul style="list-style-type: none">・講 師 愛知淑徳大学ビジネス学部ビジネス研究科教授 真田 幸光 氏・テーマ 「世界と日本を俯瞰する」 <p>■視察 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>■第3回フォーラム 令和4年2月7日</p> <ul style="list-style-type: none">・講 師 (株)ビット89代表取締役／(一社)寺子屋カレッジ 代表理事／(一社)YS市庭コミュニティー財団理事 吉田 健司 氏・テーマ 「激変時代の潮流変化と将来を見据えた経営の舵とり術」～経営に必要な3つの視点とMBAで学べない日本的経営道～ |

2) 同友フォーラム

委員長 矢島 薫

| | |
|------|---|
| 目 的 | 会員のニーズに対応するほか提言関係事業と連動して、社会に生起する諸課題について理解を深めるとともに意見交換する。 |
| 活動経過 | <p>■第1回フォーラム 令和4年3月14日</p> <ul style="list-style-type: none">・講 師 神戸大学大学院経済学研究科教授 梶谷 懐 氏・テーマ 「ポストコロナの中国のマクロ経済政策―「三本の矢」はどう放たれたか―」 |

(3) 提言関係事業

1) 明日の岐阜県の社会を考える委員会

委員長 柳原 幸一
副委員長 松田 英文
副委員長 森田 順子

| | |
|------|---|
| 提言名 | 2030年に向け5つのチャレンジを — 5項目で全国をリードする岐阜県に — |
| 目的 | 2030年に岐阜県が目指すべき経済社会の姿を骨太に示す。 |
| 活動経過 | <p>■第1回委員会 令和3年7月14日 ・テーマ 「2030年に目指すべき岐阜県の『産業・雇用』、『脱炭素化』、『医療・介護』、『教育』の姿について」</p> <p>■第2回委員会 令和3年10月18日 ・テーマ 「提言の方向性」</p> <p>■第3回委員会 令和3年12月16日 ・テーマ 「提言素案」</p> <p>■提言記者発表 令和4年2月8日 ・出席者 正副委員長</p> |
| 提言骨子 | <p>本県は2030年に向けて次のチャレンジをし、5項目で全国をリードする経済社会を構築すべきである。</p> <p>① 効率的で感染症に強い地域医療体制を築く。 ② DX(*)と脱炭素化を同時に、強力に押し進める。 *デジタルトランスフォーメーション</p> <p>③ すべての大人に学び直しの機会を整備する。 ④ 再生可能エネルギーを積極的に導入する。 ⑤ 働き手の介護と仕事の両立を支える。</p> <p>なお、新型コロナの感染拡大のプロセスで分かったように、医療がひっ迫し医療体制に瑕疵が生じれば経済社会は急激に委縮する。その意味で①は②～⑤を機能させる基盤として重要な役割を果たす。従って、企業経営者はこれまで強く意識してこなかった医療体制についても、近年大きな課題として捉えられている脱炭素やフェアトレードと同様に関心を寄せ、①の実現に力を尽くす必要がある。</p> |

2) 地方分散型社会の実現を考える委員会

委員長 各務 剛児
副委員長 若山 雅彦

| | |
|------|---|
| 提言名 | 若年層・子育て世代に向けた『循環型未来都市』の実現 － 就労、育児、教育に着目した魅力溢れる街づくりによる新たな人流の創出 － |
| 目的 | 「地方分散型社会」への機運の高まりを活かし、若年層や子育て世代を岐阜県に呼び込むために必要な施策を提案する。 |
| 活動経過 | <p>■第1回委員会 令和3年7月29日 ・テーマ 「地方分散型社会を実現するために岐阜県が目指す姿」</p> <p>■第2回委員会 令和3年11月11日 ・テーマ 「提言の方向性」</p> <p>■第3回委員会 令和3年12月21日 ・テーマ 「提言素案」</p> <p>■提言記者発表 令和4年3月2日 ・出席者 正副委員長</p> |
| 提言骨子 | <p>地方分散型社会の実現には、地方都市の未来を担う“人口”を地方に分散させる必要がある。そのために若年層や子育て世代の「就労環境」、「育児環境」、「教育環境」といった3つの視点から、県の新たな魅力を創造する『循環型未来都市』（仮称）を実現すべきである。</p> <p>具体的には、若年層や子育て世代のライフイベントに着目し、次の施策を推進することで地方分散型社会を実現する。</p> <p>① 魅力的かつ新たな就労環境の確保 規制緩和と支援強化による積極的な企業誘致により、魅力的かつ新たな就労環境を創出する。</p> <p>② 就学前児童の育児環境の充実 誰もが安心安全に育児ができる体制を構築することにより、県内で子育てをしていくことの魅力を拡充する。</p> <p>③ 教育分野における新たな魅力の創出 産学連携による県立大学の新設などで魅力的な教育環境を整えることにより、若者の県外流出防止と流入増加を促す。</p> |

3) 代表提言事業

筆頭代表幹事 鈴木 良春

| | |
|-------------|---|
| <p>目 的</p> | <p>経済社会にとって重要かつ緊急性の高いテーマについて要望活動を行う。</p> |
| <p>活動経過</p> | <p>■ 脱炭素化に取り組む中小企業への支援について</p> <p>令和3年6月に会員各位を対象に実施した「カーボンニュートラルに関するアンケート調査」の結果(*)を踏まえ7月、脱炭素化に取り組む中小企業が脱炭素化を推進できるよう支援を求める要望書を知事に提出した。</p> <p>(*) 調査対象/本会会員 381人 有効回答数(率)197票 (51.7%) 企業が脱炭素化に取り組むうえでの主な課題として最も多いのが、「専門知識やノウハウの蓄積がないこと」と「脱炭素化のコストを価格に転嫁できないこと」(同数)。</p> <p>要望内容は次の通り。 ①資金の余力がない中小企業の社員の脱炭素に関する知識や技術を向上させるために、人材育成、能力開発の場を設けること。 ②脱炭素化のコストは生産者などだけでなく、消費者も含む社会全体で負担すべきことを人々の共通認識にまで高めること。</p> <p>■ 企業立地を進めるための規制緩和について</p> <p>東海環状自動車道が2026年度に全線開通することを受け令和4年1月、西回りエリアの企業立地をスムーズに進めるための規制緩和を求める要望書を知事に提出した。</p> <p>要望内容は次の通り。 ①農地転用許可手続きの迅速化を図ることや農地転用許可の権限移譲を推進すること。 ②市街化調整区域において例外的に開発が認められる技術先端型業種の数を追加すること。 ③岐阜県環境影響評価条例の対象事業となる高層工作物等を建設する際の高さに関する制限を標準レベルとするなど見直しを行うこと。</p> |

(4) 経済団体との交流事業

1) 第33全国経済同友会セミナー (デジタル大会)

| | |
|----------|---|
| 開催日 | 令和3年4月8日 |
| テーマ | 「新しい日本の再設計～コロナショックを新日本創造の契機に～」 |
| 内 容 | <p>【基調講演】 講 師：華厳宗管長・第223世東大寺別当 狭川 普文 氏 テーマ：奈良時代における医療体制から学ぶ～感染症対策に対する取り組み～</p> <p>【セッションⅠ】 モデレーター：中部経済同友会 代表幹事／ 日本特殊陶業(株)代表取締役会長 尾堂 真一 氏 テーマ：「新時代を生き抜く 真のDXを実現するために」</p> <p>【セッションⅡ】 モデレーター：(公社)経済同友会 副代表幹事／ ポストンコンサルティンググループ 日本共同代表 秋池 玲子 氏 テーマ：「分散型社会～東京一極集中の是正」</p> |
| 会 場 | 東京マリオットホテル |
| 本会からの参加者 | 12名 |

2) 第29回経済同友会中央日本地区会議

当会議は、わが国の中央地域に位置する8同友会の幹部が、交流を深めるとともに広域的テーマについて意見交換する会合。

| | |
|-------|--|
| 開催日 | 令和3年10月7日 |
| テーマ | 「マース (M a a S) と地域経済」 |
| 内 容 | <p>【基調講演】 講 師：東急(株) 交通インフラ事業部M a a S担当課長 森田 創 氏 テーマ：「マース (M a a S) と地域経済」</p> |
| 参加同友会 | 岐阜県、中部、静岡、富山、金沢、福井、新潟、山梨 |
| 会 場 | みしまプラザホテル |

3) 岐阜県下財界新春懇親会

| | |
|-----|-------------------------|
| 開催日 | 令和4年1月13日 |
| 共催 | 岐阜県商工会議所連合会 岐阜県経営者協会 |

3. 会議

1) 総会

① 令和3年度定時総会

| | |
|------|--------------------------|
| 日 時 | 令和3年6月15日 午後3時30分 |
| 出席会員 | 271名（書面表決委任者163名を含む） |
| 議 案 | 第1号議案 令和2年度事業報告書及び財務諸表の件 |
| | 第2号議案 増員による理事選任の件 |

② 令和3年度臨時総会

| | |
|------|----------------------|
| 日 時 | 令和4年3月24日 午後3時30分 |
| 出席会員 | 253名（書面表決委任者167名を含む） |
| 議 案 | 第1号議案 令和4年度事業計画・予算の件 |

2) 理事会

| 回 | 開 催 日 | 議 案 及 び 報 告 |
|---|--------------|--|
| 1 | R. 3. 5. 24 | 令和2年度事業報告及び決算の件、理事候補者の件、常任幹事・幹事増員の件、幹事補充の件 |
| 2 | R. 3. 11. 26 | 中間決算の件 |
| 3 | R. 4. 1. 24 | 次期筆頭代表幹事の件、令和4年度事業計画・予算の件 |
| 4 | R. 4. 3. 24 | 次期理事・監事候補者選任の件、常任幹事・幹事補充の件 |

3) 常任幹事会

| 回 | 開 催 日 | 議 案 及 び 報 告 |
|---|-------------|---------------------|
| 1 | R. 3. 12. 7 | 中間決算の件、常任幹事・幹事補充の件 |
| 2 | R. 4. 2. 22 | 入会の件、令和4年度事業計画・予算の件 |